

自主勉強会用ユニット①

* 指導者がいない中で資格者同士で力量を高めるためのプログラムユニットです。

＜関係構築の基本学習＞ 当日60分(2人組7分)～120分(3人組10分)程度+HW2時間程度

* このユニットのゴール(視点)はCLが「分かってくれた」「面談を続けたい」と感じる応答できること
(理想的には、この関係構築をしながら、CLは結局何に困っているのか? CLの目標は何か? CLのこの面談へのニーズは何か、まで共有できることです)

→スキルのには、「事柄が分かってくれたとCL感じる応答」「感情が分かってくれたとCL感じる応答」
「意味(どういう事柄にどういう感情)がCL分かってくれたとを感じる応答」できる。
(傾聴技法の「明確化」「感情反映」「言換え」「要約」を適切に活用し、活動技法を我慢する)

* 「2人組あるいは3人組」「ロープレを記録する」

ロールプレイ

①	ロールプレイ実施(録音)	7分または10分
②	録音再生し、CC・CL・OBとも可能な限り具体的に応答をメモする	同上
③	上記視点について、振り返り(CC→OB→CL) CL、OBは可能な限り具体的に「どの応答(CLが何を伝えた後のCCがどう言ったとき)がどう感じたかを説明する。 CCは、自分の応答が今一步だと感じた場合、可能であれば「CLが何を自分に伝えたかったのか、分かったことを返す」言い直しをし、CLは言い直した応答が以前とどう違うかをフィードバックする。	7～10分程度
④	上記の役割を交代し、同様に実施 上記×2または3	
⑤	全体振り返り(分からないこと・感じたこと全体共有)	10分程度

HomeWork

a	自分がCCを行った面談の逐語5～7分程度(できればページを半分にし、左にCL、右にCCの応答記録 (普通に縦に逐語を書き、CLの発言とCCの発言の色を変える、でもOK)	2時間程度
b	CLの発言だけを読み、CLが伝えたかった重要な「事柄」「感情(気持ち)」「意味(どういう事柄にどういう感情)」の部分にマーカーを引き、どういうことをCLは伝えたかったのか自分なりに整理する	
c	CLが伝えたいことに対し、CCである自分の発言を見、どの程度「分かった」とCLに伝わるか考える(自分の表現レベルはどの程度か)	
d	各CLの伝えたいことに対し、どういう発言をしていれば「(表面的でなく)分かってくれた」と感じそうか、もう一度言い直すならばどういふとよさそうかを考える	

自主勉強会用ユニット②-B

* 指導者がいない中で資格者同士で力量を高めるためのプログラムユニットです。

＜戦略の策定学習（CL視点の問題を理解した上で、クライアント満足に繋がる戦略を策定する）＞ 当日3.5時間程度

* このユニットのゴール（視点）はCI視点の問題をしっかりと理解した上で「戦略」を考えること。

- ・その戦略により、クライアントの問題は解決に近付くのか（前向きな変化に繋がるか？）
- ・クライアントはその戦略を受け入れるか？ 気になるパーツについては、どういう順番でそれをやる、あるいはどういう見せ方をすることで、クライアントは受け入れるか？

（理想的には各戦略の長所・短所等を理解し、自分はその戦略を選ぶのかまで自覚できる）

→スキルのには、「CL視点の問題」を把握し共有し、その問題に対し、どいう理論・どいう課題解決アプローチ（フレームワークという呼び方もあります）を使えば解決に近付きのかを組み立てることができる、という課題解決能力。もう片方は、その課題解決アプローチはクライアント視点だどいう感じるか？ クライアントが受け入れるためには、どのタイミングでどいう見せ方をするとよいか、どいうクライアントの心理ステップに合わせて計画できる、という両面が必要。

* 1人のケースを全員で考え、戦略を考える

ロールプレイ

①	素材（クライアント視点の問題が分かる録音テープまたは逐語の提供）提供者の面談を共有 ・逐語を配布する ・録音を聞く ・受講者は逐語に、CL視点の問題は何か？ CC視点の問題は何か、どこでそう感じるか？ 書き込みながら聞く	20分（しっかりと握れた時点で短ければ時間短縮）
②	CL視点の問題は何か、全体で発表し共有する	15分程度
②	CC視点の問題は何か、理由も添えて発表し、自分が感じた問題・課題が決め付けや思い込みでないかをチェックする	10分程度
④	各人、自分だったらどいう戦略で進めるかメモを書く	15分
⑤	全体で（人数多い場合はグループで）戦略を発表し、課題解決としてどいうか、クライアントは受け入れるか、討議。戦略は100人100様であることを意識しつつ、もっと効果を上げる工夫を議論。	25分程度
⑥	他人の戦略を聞いた上で、再度、自分だったらどいう戦略を考えるか、再検討	5分程度
	休憩	15分程度
⑦	2人目のケース①～⑥実施	90分程度
⑧	全体振り返り、感想交換	15分程度

自主勉強会用ユニット③

* 指導者がいない中で資格者同士で力量を高めるためのプログラムユニットです。

<クライアントに変化を与える面談の学習> 当日3.5時間程度+HW3時間程度

* このユニットのゴール(視点)はCLが「分かってくれた」「面談を続けたい」と感じる応答できること
(熟練レベルで求める全ての視点の統合)

* 「2人組」「ロープレを記録する」

ロールプレイ

①	1回の面談を終りまで実施するロールプレイ実施(録音)	30分
②	上記でロープレした時と違うペア(キャリアコンと同僚役)を作り、テープを聞き直す(お互いにメモを取りながら聞き直す)	30分
③	面談セルフチェックシート(キャリア研修センターWEBにてダウンロード)にて、同僚役が質問する形で、セルフチェックシートの指示通りに振り返り。 順番は、A→B→D→Cで、時間が残った場合は、同僚役と他に戦略ないか討議する。	30分程度
④	休憩	15分
⑤	上記の役割を交代し、同様に①②③実施	90分
⑥	全体振り返り(分からないこと・感じたこと全体共有)	15分程度

HomeWork

a	面談開始後5-7分の逐語、対処をやっている部分の5-7分の逐語記入	3時間程度
b	CLの発言だけを読み、CLが伝えたかった重要な「事柄」「感情(気持ち)」「意味(どういう事柄にどういう感情)」の部分にマーカーを引き、どういうことをCLは伝えたかったのか自分なりに整理する。 また、自分が何か対処した(提案、アドバイス、新しい質問等)応答については、CLがどう反応しているのか(受け入れているのか、抵抗しているのか、返事はしているが話を変えているのか等)考える	
c	CLが伝えたいことに対し、CCである自分の発言を見、どうするのが望ましいか考える	
d	自分の特徴や、今後注意することを整理する	

自主勉強会用ユニット④

* 指導者がいない中で資格者同士で力量を高めるためのプログラムユニットです。

＜熟練レベル技能検定練習＞ 当日3.5時間程度+HW3時間程度

* このユニットのゴール(視点)はCLが「分かってくれた」「面談を続けたい」と感じる応答できること
(熟練レベルで求める全ての視点の統合)

* 熟練レベルのキャリアコンサルタント検定に合格できること

* 「3人組(CC,CL,OB)」「ロープレを記録する」

ロールプレイ

①	1回の面談を終りまで実施するロールプレイ実施(録音)	20分
②	オブザーバー役が面談セルフチェックシート(キャリア研修センターWEBにてダウンロード)にて、OB役(採点官役)が質問する形で、セルフチェックシートのA i、B i、B v、C i、C iii、D iを質問し、キャリアコンサルタントが答える。CLは発言してはいけない。 上記質問への回答終了後、CL、OBは関係構築、CL視点の問題、CC視点の問題(CLはCC視点の問題は分からないので指摘をしない)、戦略、変化等、面接に求める視点がどの程度できていたか、具体的にどのような発言でそう感じたか、をフィードバック(質問への回答も録音する)	30分
③	休憩	10分
④	①②③を役割を変えて実施	2時間
⑤	全体振り返り(分からないこと・感じたこと全体共有)	30分程度

HomeWork

a	全体を聞きなおした後、面談開始後5-7分の逐語、対処をやっている部分の5-7分の逐語記入	3時間程度
b	CLの発言だけを読み、CLが伝えなかった重要な「事柄」「感情(気持ち)」「意味(どういう事柄にどういう感情)」の部分にマーカーを引き、どういうことをCLは伝えなかったのか自分なりに整理する。 また、自分が何か対処した(提案、アドバイス、新しい質問等)応答については、CLがどう反応しているのか(受け入れているのか、抵抗しているのか、返事はしているが話を変えているのか等)考える	
c	CLが伝えたいことに対し、CCである自分の発言を見、どうするのが望ましいか考える	
d	自分の特徴や、今後注意することを整理する	